

令和7年 第2回定例会 一般質問通告表

NO. 1

通告順	議席番号	通告者	項目	件名	質問の要旨	答弁者
1	8	藤原 芳幸	1 行政	増加する空き家 まちの住環境をどう守 るのか	<p>我が国は急速な少子高齢化の進行により14年連続で総人口が減少しており、これらに伴い全国的に空き家問題が深刻な社会問題になるといわれている。空き家は居住者の高齢化と所有者の管理、活用上の問題で発生するとされている。本町ではすでに65歳以上の人口割合が42%を超え、人口減少も続いており、多くの空き家が発生している。一部では活用されているものの、放置されている住宅も多く、今後もさらに居住者がいない住宅が増えることは、本町のまちづくりにとっても対策が必要であり、町長が目指す安心・安全なまちづくりをどのように進めるのか町長の考えを伺う。</p> <p>1 空き住宅の所有者は周辺的生活環境に悪影響を及ぼさないよう適切に管理しなければならない責任があるが、放置住宅ではこの冬も屋根雪の落下など管理不足による周辺への弊害も出ている。町は速やかに安全を確保し、所有者に連絡を取り住民に周知していることは承知しているが、状況が改善されないことに付近の住民は不安を感じている。危険物件により強い指導や対応を図ることはできないか。</p> <p>2 今後の住宅状況を鑑みると、管理の負担や解体費用の高騰で放置住宅がさらに増えることが想定される。住宅の処分や再活用に繋がるよう、町民に対し住宅解体時の補助金の増額や中古住宅取得時の支援強化を行い、放置される住宅の発生を抑制する対策が必要であると考えているが。</p>	町長
			2 社会福祉	高齢者が安心して暮ら せる生活環境整備につ いて	<p>本町では高齢者も安心して暮らせるまちを目指し、さまざまな施策を講じているが、その一つに緊急通報システムがあり、一人暮らしの高齢者などにとっては、心強い取り組みとなっている。</p> <p>町内における設置対象者で緊急通報システムを設置している世帯は40件ほどだが、現在80歳以上で一人暮らしをしている方は120人近くに上る。事業の存在そのものを知らない人もおり、周知方法を工夫し、より多くの高齢者が安心して暮らせるよう、利用の拡大を進めてはいかかがか。</p>	町長

通告順	議席番号	通告者	項目	件名	質問の要旨	答弁者
2	1	木下 広悠	1 行政	地方創生2.0を契機に美深町の創生を	<p>1 石破政権肝入りの政策「地方創生2.0」が令和7年から実施され、当初予算は令和6年度の2倍の額が計上されている。従前の「デジタル田園都市国家構想交付金」の内容を刷新した「新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)」は事業の交付対象も拡大し、交付金額も最大10億円となり、利用次第では自治体の発展に著しく貢献出来る可能性がある。令和7年3月31日での交付決定件数及び採択額は197件、227億円であり、この交付金を活用している自治体は数多いが、美深町において第2世代交付金活用の議論はどれだけ行われているのか伺う。</p> <p>2 平成26年度から実施されている地域活性化起業人を今年度から初の試みで採用しているが、今年度まで長期で採用出来ていなかった要因は何か。地方創生に関する人材派遣事業は地域おこし協力隊が目玉されがちな印象があるが、自治体によっては数多くの地域活性化起業人を採用して地域に活力を見出しているの、今後もこの制度を活用して貰いたいと考えているが、今後も積極的に募集を行っていく考えはあるのか伺う。</p>	町長
				観光客増加策及び美深町の広告費について	<p>美深町の地域再生計画では2020年の観光客入込数は43.7万人となり、今年度には45万人を目標値として掲げているが、実現に向けて具体的に何に取り組んでいるのか伺う。</p> <p>以前の一般質問でも触れた事だが、起業支援の影響も有り飲食店の新規開業は目覚ましいものがあるが、現実問題として町外需要の獲得を目指さなければ事業の持続が危ぶまれる。</p> <p>観光客を受け入れる土壌は人口規模で見れば充実していると思うのでPRの仕方が目標達成出来るかどうかの肝になってくると思うが認識は。</p> <p>現在美深町では、SNSでの発信を利用したイベントを行っていたり、SNSの発信を任務とした地域おこし協力隊を受け入れたりと一時期と比べるとPRに積極的な印象を受けているが、雑誌広告やインフルエンサーへの委託など、今後の美深町のPRを拡充していく考えはあるのか。</p>	町長

通告順	議席番号	通告者	項目	件名	質問の要旨	答弁者
3	3	中瀬 亮太	1 行政	未婚化、晩婚化対策に向けた結婚パートナー対策について	<p>結婚パートナー対策は、我がまちだけではなく各自治体でも課題とされる問題であり、少子化に伴う学校の存続や部活動の活動停滞、様々な問題が懸念されます。</p> <p>現在は、後継者育成協議会にて農業者に向けた結婚パートナー対策を行っておりますが、農業者だけではなく美深町の未婚者に向けた結婚パートナー対策をどのように考えているのか、下記の項目についてお伺いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 美深町内未婚者の結婚に対する意識調査や結婚意欲を向上させる取組を実施する考えは。 2 結婚、出産後に向けた美深町の独自支援や取組がないと思われるが、美深町に住んでもらえるための施策の考えは。 	町長

通告順	議席番号	通告者	項目	件名	質問の要旨	答弁者
4	2	望月 清貴	1 社会福祉	熱中症予防対策について	<p>学校や社会福祉施設への冷房設備の整備、支援を進めてきたが、高齢者をはじめとする在宅での熱中症予防対策について伺う。</p> <p>1 近年の熱中症による救急搬送の状況は、どのようなものだったか。 また、医療機関への受診状況は把握できているのか。</p> <p>2 熱中症予防のための啓発活動の今後の進め方、さらにクーリングシェルターの確保やエアコンなど冷房機器の購入支援を研究する考えは。</p>	町長
			2 交通	自転車用ヘルメットの着用促進について	<p>令和5年4月から自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務とされたが、現状と着用促進の取り組みについて伺う。</p> <p>1 ヘルメットの保有や着用の状況は把握されているのか。 また、啓発活動の状況と今後の進め方は。</p> <p>2 子どもたちや高齢者をはじめとした命を守るための安全対策として、購入を促進するための支援を行う考えはないか。</p>	町長
			3 社会福祉	こども・子育て支援事業計画の概要等について	<p>令和7年度からの「第3期美深町こども・子育て支援事業計画」が策定されたが、事前に行ったニーズ調査結果と併せて、その概要等について伺う。</p> <p>1 保護者へのニーズ調査結果の概要はどのようなものか。また、計画策定委員会での主な議論、特記すべき事柄はどのようなものがあったか。 一例として、「子育てしやすいまちづくりのために最も重要だと思うこと」の問いに、「小児医療体制の充実」との回答が最も多かったようだが、議論の状況や対応する方策はどのようなものか。</p> <p>2 3期目となる「こども・子育て支援事業計画」の概要は。 また、数多くの施策があるが、新たに取り組む施策など、計画の要点は。</p> <p>3 子どもたちは家族の宝、美深町の未来と考える。子育てを希望する町民、子育て中の町民、そして見守り、支える町民に対しての考えは。</p>	町長